

Floppy's Phonics Stage 4 'Egg Fried Rice'

p.1

「今度の金曜日で、わたし9歳になるんだ」
ウィルマが言いました。

「どこかにごはんを食べに行きたいなあ」

p.2

「中華料理がいいな」ウィルマが言いました。

「それに、ピフとチップを呼んでもいい？」

p.3

「ええ、いいわよ」ママが言いました。

「そりゃあいいね」

p.4

中華料理を食べに行く日がやってきました。

みんなはブライト・スカイというレストランに行きました。

p.5

「9歳になるってどんな感じ？」チップが言いました。

ウィルマはニコニコしました。

「まあまあよ」ウィルマは言いました。

p.6

「何がいいんだい？」お父さんが言いました。

p.7

「わたし、卵チャーハンがいい」とウィルマが言いました。「あと、エビもね」

「みんなおいしそうだなあ」

p.8

そのとき電気がいきなり消えました。

大変です。火事です。

p.9

「キッチンが火事だ」ミスター・リーが言いました。

p.10

みんな外に出されました。

消防士さんたちがやって来て火を消しました。

P.11

「申しわけありません」ミスター・リーが言いました。

「今夜は閉店いたします」

p.12

ウィルマはがっかりです。必死でこらえていましたが、やはり涙がこぼれてしまいました。

「ほんとうに残念だったわね」

p.13

「ウィルマの泣いた顔を見るのはとてもつらい」ミスター・リーが言いました。

「日曜日の夜、また来てください」

p.14

日曜日はミスター・リーがごちそうしてくれました。

「わあ、チャイニーズ・ドラゴンよ」

p.15

「笑って」ミスター・リーが言いました。

「なんてやさしいんでしょう」お母さんが言いました。

p.16

「卵チャーハン、おいしかったです。」ウィルマが言いました。

「それにすごく楽しかったわ」